

令和6年度指定管理者業務モニタリング評価表

施設名	穂の国とよはし芸術劇場
所在地	豊橋市西小田原町123番地
指定管理者	公益財団法人豊橋文化振興財団
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
担当課	文化・スポーツ部文化課(0532-51-2873)
令和5年度指定管理料 (決算)	67,405千円
令和6年度指定管理料 (決算見込)	81,329千円

項目		基準	評価				
管理業務の実施状況に関する項目	維持管理業務の実施状況	仕様書等に基づき施設の適切な維持管理業務が行われているか。	維持管理業務は特別目的会社が行っている。				
	自主事業等の実施状況	事業計画書等に基づいた施設の設置目的に沿った事業が実施されているか。	助成金等を活用しながら舞台芸術の鑑賞機会を創出するとともに、若手音楽家育成事業などの舞台芸術人材育成事業などを実施している。				
	人員配置等の業務体制	仕様書等で定めた人員配置がなされているか。また、労働環境が関係法令等を遵守した適正なものとなっているか。	事業計画書のとおり適切に人員配置がなされており、労働環境は関係法令等が遵守され適正なものとなっている。				
	職員研修の実施状況	事業計画書等に従い職員研修が実施されているか。	事業計画書に基づき定期的に研修が実施されている。				
	個人情報保護の措置状況	協定書の個人情報保護規定に基づき、個人情報が適正に管理されているか。	協定書等の個人情報保護規定、公益財団法人豊橋文化振興財団個人情報保護規定に基づき適正に管理されている。				
	緊急時対応への取組状況	緊急時の連絡体制があり、かつ訓練等が実施されているか。	マニュアル、非常連絡網が整備され、定期的に避難訓練等も実施されていることから、十分な取り組みがなされている。				
施設利用状況	施設利用の許可状況	利用者の公平な選考を確保しているか。	利用者の決定は、規則・要綱に則り適正に行われている。				
	施設利用状況	前年度と比較した利用者数等についてはどうなっているか。(利用状況を数値化して令和5・6年度を比較)		R4年度	R5年度	R6年度	比較(R6-R5)
			開館日数	349日	350日	349日	▲1日
			利用者数				
			a. 主ホール	75,836人	90,601人	83,916人	▲6,685人
			b. アトリエ	27,237人	30,642人	31,234人	592人
			c. 創造活動室	15,470人	19,142人	19,851人	709人
			d. 研修室	8,693人	12,380人	15,786人	3,406人
			e. 交流スクエア	28,620人	32,299人	30,755人	▲1,544人
			計	155,856人	185,064人	181,542人	▲3,522人
			【要因分析】主ホールは市民劇など主催公演の減少により、利用件数が前年度比82%となり、利用者人数も減少した。一方、創造活動室F・Gでは学生など新規利用者の増加もあり、利用件数、利用人数ともに増加した。研修室は会議利用の需要増に加え、主催事業の展覧会が、利用者数増加に貢献している。交流スクエアは主ホールの利用人数減の影響に伴い減少した。				

様式1

施設利用状況に関する事項	サービス向上等への取組状況	施設PRやサービス向上の取組みは実施されているか。	・ホームページやメールマガジン、劇場SNS、劇場広報誌、まちなか図書館トークイベントをはじめとする各種広報活動により、イベント情報の発信、施設PRを効果的に行っている。 ・劇場の特性を活かした自主事業の実施により、利用者サービス、施設の認知度向上に努めている。 ・芸術文化に関する高い専門性と豊富な経験、知識を有する職員を配置することで、質の高い舞台芸術公演を実施し、市民の鑑賞体験を蓄積するとともに、市内外からの来場者を増やすことでまちなか活性化にも貢献している。			
	利用者満足度調査結果	利用者への満足度調査(アンケート)等を実施し、業務改善を実施しているか。(指定管理者が自ら行ったアンケート結果に基づく)	本年度のアンケート結果の総合的満足度調査によると、「とても満足」45.9%、「まあ満足」37.8%、「普通」14.3%と、肯定的な評価が全体の98.0%を占めている。 個別分析では、利用申請等の手続きに関して「やや不満」6.1%、「とても不満」1.0%、利用料金について「やや不満」9.2%となっており、手続きや料金に対するご意見がうかがえる。条例等に則った運用を基本としつつ、丁寧な情報提供やサービスの質の維持・向上を通じて、ご利用の皆様にご理解とご満足をいただけるよう取り組んでいく。			
	意見箱等	意見箱等に寄せられた具体的な意見	内容		対応	
			抽選会の時に時間がかかる		運用方法を随時検討	
			駐車場に関するご意見 多数		来館者用駐車場なし。主ホール、アールスペース、創造活動室Aで行われる一般に公開される公演に限り、駐車料金を割引。	
苦情・トラブルへの対応	利用者の苦情等への対応は適切であったか。	適切・迅速に対応している。				
管理経費等の収支状況等	経費等の執行管理状況	資金の適正な管理と経理内容の明確化が実施されているか。	資金管理は確実に行われている。また、指定管理業務とその他の業務を区分し適正に経理されている。			
	経費等の収支状況	収支状況が収支計画書と乖離していないか。	指定管理業務については概ね収支計画書通りの収支状況となっている。自主事業については支出の方が大きくなっている。			
		収支計算書	収入の部		支出の部	
			指定管理料	81,329千円	指定管理事業費	129,587千円
			利用料金収入	45,185千円	自主事業	2,508千円
			自主事業収入	774千円		
			その他収入	1,265千円		
	収支差額		-3,542千円			
指定管理者の提案事業の実施状況	主な自主事業として以下の事業を実施しました。 ○年間プログラム説明会 令和6年4月29日(日) 参加者数53名 ○若手音楽家育成事業「ワンコインコンサート」 令和6年5月～令和7年3月に7回のコンサートをアールスペース 入場者数1,186名 ○ピアノ試し弾き 令和6年5月～令和7年3月に21回実施 参加者数172名 ○MONO「デマゴギージャズ」 令和7年3月15日(土)・16日(日) アールスペース 2回公演 入場者数297名 ○東三河高等学校演劇部活動支援 令和6年4月～2月 参加者数6,424名					

当年度の対応方針	芸術文化に触れる機会の提供や人材育成事業の拡充を図るとともに、芸術文化を活用した地域連携活動など、より一層「第6次豊橋市総合計画」の実現に寄与するような取り組みを実施し、新規利用者の獲得につなげることを期待する。
指定管理者の自己評価	穂の国とよはし芸術劇場は、演劇やダンスをはじめとする東三河地域の舞台芸術をリードする拠点として、自主事業の開催だけではなく、貸館事業を通じてプロフェッショナルから市民文化団体まで、幅広く利用されている。 市民利用からプロフェッショナルまで、多様な舞台芸術に対応可能な高度な設備と、それを的確に運用する専門的な知識・経験を持つ技術・企画制作の両面における人員体制は当施設の大きな強みであり、地域に根ざした芸術文化活動を支える基盤となっている。 令和6年度は、主ホールでの公演数減少により利用件数は前年度比82%となったが、創造活動室F・Gでは学生による新規利用が増加、研修室においても会議利用に加えて展覧会としての利用など、施設全体としては多様なニーズに応える運用を行うことができた。また、貸館利用が増加したことにより、利用料金収入は前年度を上回った。 一方で、電気代をはじめとする光熱費の高止まりに加え、人件費や一部委託費の上昇といったコスト面での課題も継続しているが、可能な限りの省エネルギー運用に努めた。 自主事業については、事業内容を厳選し、効果的な事業展開に努めながら、地域に根差したプログラムを実施した。若手音楽家育成事業「ワンコインコンサート」、ピアノ試し弾き企画、演劇公演 MONO「デマゴギー・ジャズ」などを通じて、多様な鑑賞機会を提供し、それぞれ好評を得た。さらに、東三河高等学校演劇部活動支援など、舞台芸術を担う人材育成にも継続して取り組み、地域における芸術文化活動の拠点としての役割を果たしている。
総合評価	専門人材が高度な舞台設備を的確に運用し、芸術性の高い公演の招致に繋げているほか、積み重ねてきたノウハウを自主事業の展開や演劇部活動のサポートという形で市民に還元し、「ホールを活用した文化人材の育成支援」を着実に実施している。
次年度の対応方針	市民に一流の舞台芸術を体感する機会を提供しながら、施設の利用者数を増やし、さらには地域のにぎわいにつながるような、拡がりのある施設運用、自主事業の展開を求める。